

『大牟田市庁舎整備手法』について 全員協議会を開催

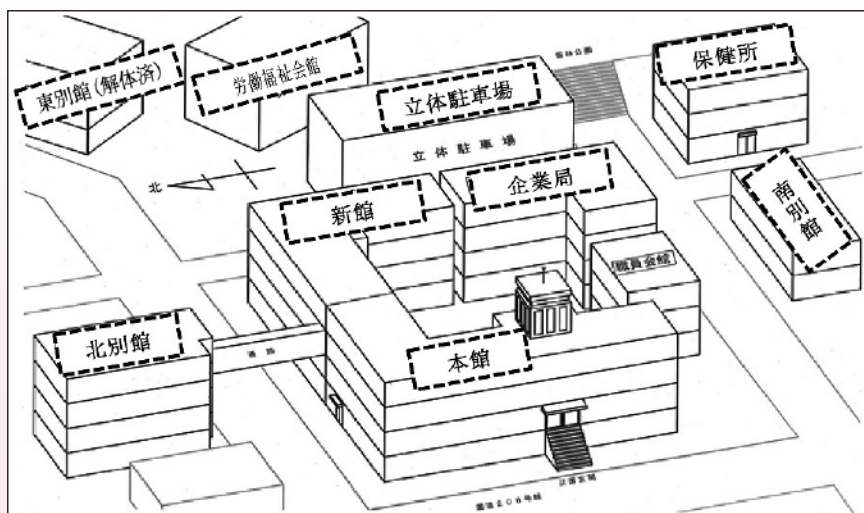
平成30年2月9日に開催された全員協議会の中で、当局から大牟田市庁舎整備に関するシミュレーションの結果報告がありました。

大牟田市では平成31年度に実施を予定していた耐震調査を前倒しして平成28年度に耐震診断を実施したところ、建設後80年が経過した本館を初め複数の庁舎で震度6強の地震が発生した場合に倒壊又は崩壊する危険性があることが明らかになりました。

また、同年度の現況調査では、庁舎の耐久性に関する課題や増築を重ねたことによる利便性の低下などの課題もわかり、今後の対応方針を検討するに当たり検討の基礎となる各種条件を設定し、整備手法別のモデルケース（右図の4案）によるシミュレーションが行われました。

このモデルケースは、耐用年数が改修の場合で20年、建て替えの場合で75年、さらに概算建設費用は約41億から約90億と幅がありますが、あくまで今後の議論を深めるためのものであり、この中から必ず選ぶものではありません。

庁舎等概観



モデルケース（4案）

A案：各庁舎を改修。本館は免震改修。新館や延命庁舎は耐震改修。

B案：本館を免震改修。企業局と新館を解体し、そこへ新館を新設。

C案：本館と新館、駐車場を解体。現在の場所に建て替え。

D案：労働福祉会館を解体し、笹林公園に新庁舎を建設。現在の庁舎跡地は代替公園。

※この4案から必ず選ぶものではありません。

今後のスケジュールとして、今回のシミュレーション結果を参考に専門家や市民の意見（市民アンケート調査等）を聞きながら論点を整理し、平成30年度中に改修か建て替えかの方針が決定予定です。

今回の全員協議会だけではなく、平成29年度の市議会定例会や決算特別委員会、予算特別委員会においても庁舎整備に関する議論が交わされてきましたが、30年度中に示される方向性に市民意見が反映されるよう取り組むとともに、議会でもさらに議論を深めていきたいと考えています。

インフォメーション

■次の定例会は6月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（平成25年度以降）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。

6月上旬から閲覧できます。ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。